

「情報公開文書」

研究課題名：

網膜中心静脈閉塞症・網膜静脈分枝閉塞症における眼血流と動脈硬化の関連性

倫理審査担当：国際医療福祉大学千葉地区倫理審査委員会

承認日：2025 年 9 月 30 日 承認番号：25-CN-032

1. 研究の対象

2022 年 2 月 1 日～2026 年 4 月 30 日までに

当院で網膜中心静脈閉塞症・網膜静脈分枝閉塞症と診断された方

2. 研究目的・方法

研究期間は2025年9月30日～2027年3月31日までとします。

網膜静脈閉塞症という病気は視覚の情報を処理する網膜という部位にある静脈が閉塞することで、眼底出血や、物を見るときに重要な黄斑の浮腫などが起こる疾患です。閉塞する場所によって、網膜中心静脈閉塞症・網膜静脈分枝閉塞症に分かれます。発症する原因に加齢、高血圧、動脈硬化などが挙げられ、全身状態と密接に関係する疾患です。そこで今回の研究では網膜静脈閉塞症の患者さんにおける眼血流と動脈硬化について詳しく検討します。

眼血流はレーザースペックルフローグラフィ (LSFG) という眼底血流を測定する装置、動脈硬化は Cardio Ankle Vascular Index (CAVI) という装置を用いて測定いたします。

本研究は網膜中心静脈閉塞症・網膜静脈分枝閉塞症と診断された患者様のカルテもしくは診療録から評価を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

抽出する情報は以下のとおりです。

- ・年齢、性別、視力、眼圧
- ・網膜の断層画像を撮影する optic coherence tomography : ellipsoid zone 長、中心窩網膜、脈絡膜厚
- ・LSFG: 測定範囲全体・血管・組織の血流量、血流抵抗性、血流の面積比
- ・CAVI: 心臓から足首までの動脈の硬さ、足の動脈の詰まり具合

4. 個人情報の取扱いと倫理的事項

研究データから、患者様を特定できる情報（お名前や住所、ID など）は削除した状態で研究を実施いたします。

この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、要約したデータとして利用され、個人情報等が公になることはなく、患者様のプライバシーは守られます。

なお、この研究は、個人情報保護法にも準じて定められている国の医学研究に関する指針に従い、当院の研究理論審査委員会の審査・承認を得て実施しています。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

本研究に関するお問い合わせ（本研究への協力に同意されない場合を含む）連絡先：

国際医療福祉大学成田病院 眼科 視能訓練士 根本 純

電話：0476-23-3607 眼科 PHS90292

Mail:nemoto@iuhw.ac.jp

住所：〒286-0124 千葉県成田市畑ヶ田 852

研究責任者：

国際医療福祉大学成田病院 眼科教授 柴 友明